

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）（令和5年度補正予算措置分）の実施方針

令和5年12月21日
ガバニングボード決定

「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」（平成26年5月23日 総合科学技術・イノベーション会議決定（最終改正：令和4年12月23日））及び「戦略的イノベーション創造プログラム運用指針」（平成26年5月23日 ガバニングボード決定（最終改正：令和5年5月18日））に基づき、令和5年度補正予算で措置された「大水深採鉱技術の開発に向けた技術的実証」を実施する対象課題、プログラムディレクター、戦略及び計画の基本的事項及び対象課題毎の配分額を表1のとおり、「SIP/BRIDGEにおける生成AI学習・導入支援」を実施する対象課題、プログラムディレクター、戦略及び計画の基本的事項及び対象課題毎の配分額を表2のとおり定める。

（表1）配分額：20.0億円

対象課題	プログラムディレクター	戦略及び計画の基本的事項	配分額 (億円)
海洋安全保障プラットフォームの構築	石井 正一 日本 CCS 調査（株） 顧問	戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）において実証した水深 2,500m の海底からの海底堆積物の揚泥技術を用いて、南鳥島沖の水深 6,000m 海域にてレアアース泥揚泥試験を実施し、その回収技術を実証する。また、レアアース揚泥量など将来的な商業生産に向けた基礎データを取得するために必要となる機器を整備し、開発を加速する。	20.0

（表2）配分額：235.0億円

対象課題 (対象施策)	プログラムディレクター	戦略及び計画の基本的事項	配分額 (億円)
統合型ヘルスケアシステムの構築 (医療情報の標準化等に係る LLM の研究開発・実装)	永井 良三 自治医科大学 学長	通常のLLM（大規模言語モデル）に用いられるインターネット上の一般的な情報や書籍だけでなく、医療に関連した論文やデータを学習に用い、医療に関するタスクにおける精度を向上させるとともに、医療特化型のLLMを用いて、電子カルテの標準フォーマットへの変換、電子カルテの記入補助、レセプト等の処理業務等、さまざまな業務への適用可能性についても検証し、臨床現場での電子カルテ情報の共有や二次利用を推進する。	172.0

<p>統合型ヘルスケアシステムの構築 (医療 LMM 基盤の構築と展開)</p>	<p>永井 良三 自治医科大学 学長</p>	<p>日本語の基盤モデルに数値と画像の時系列データを統合して、LMM（大規模モダリティモデル）を開発するとともに、LMMを医療用にファインチューニングし、医療現場での因果推論や課題の抽出、ソリューションの提示等、統合的な意味を「文章と図で自動生成する仕組み」を実装する。</p>	<p>62.0</p>
<p>スマート防災ネットワークの構築 (生成 AI による防災訓練の状況付与カード作成システムの開発)</p>	<p>楠 浩一 東京大学地震研究所 災害科学系研究部門 教授</p>	<p>SIPで開発する「仮想災害対応シミュレータ」と連動し、実動機関や市町村が実施する防災訓練（図上訓練）に用いる状況付与カードを自動的に作成するシステムの開発を行い、自治体等における防災訓練のマンネリ化（毎年同様の訓練となること）の回避、多様な災害を想定した訓練の実施、及び訓練機会の高頻度化を目指す。</p>	<p>1.0</p>